

**鼻ぐり井手祭に向けて**

18日(日)の鼻ぐり井手祭に向けて、子どもたちは、音楽劇の公演の他、鼻ぐり井手のボランティアガイドや芋の販売のために、準備を進めています。芋は、南小の児童が、春に苗を植え、雑草と闘いながら大切に育ててきたものです。

普段は、お店で見ているサツマイモですが、芋を育てる苦労や、収穫した芋を干し、洗い、袋詰めするまでの過程を経験し、改めて作物を作り販売するまでの大変さを学ぶことができました。



雨の中収穫した芋を6年生が洗いました

今年は、6年生を中心となり、芋の蔓を使ってオリジナルのリースも作成しました。これを鼻ぐり井手祭で販売します。自分たちの力で得た収益で卒業記念品を販売するというプロジェクトです。リースの出来栄えもなかなかのものです。5年生は、ボランティアで赤い羽根募金を、芋の販売の横で同時に行います。是非お越し下さい。

ボランティアガイドも準備が進んでいます。ガイドの先輩にあたる5年生が、3、4年生にノウハウを教えたりアドバイスをしたりしています。



5年生が4年生に教えています

地域の多くの方にお世話になりながら、地域で大切にしてきたものを受け継ぎ、さらに新しいことにも挑戦しています。是非18日(日)の鼻ぐり井手祭で、子どもたちのがんばりをご覧下さい。



# 頑張りました 菊陽町小中学校音楽会

11月13日(火)に菊陽町音楽会が開かれました。南小からはもちろん「後の世のために人々の願いが込められた鼻ぐり井手」を3、4年生が演じました。この日の朝は、本番を前に緊張するかなと心配しましたが、みんなとてもリラックスした表情で出発しました。会場の武蔵ヶ丘中学校に着くと、何台もバスが止まり、どんどん人がおりてきました。中学校の広い体育館も人人人! 軽く千人を超す人が集まっていました。「これは緊張して声が出るかな?」と、とても心配していました。

いよいよプログラム6番。南小学校の出番となり、見ている私の方が心臓が飛び出しそうなくらいでした。まず太鼓と笛のメロディーの場面でしたが、太鼓の音も切れがよく、笛の音もそろっていて、まず一安心。次にせりふに入れます。ここで緊張感は最高潮に達しました。4年生の美虹さんが、「わあー、何あれー」。千人の観客の入った会場に響

き渡る大きな声で第一声を発すると、次から次にはっきりとした台詞が会場に響きました。歌も演奏も、この勢いで最後まで熱演が続き、16分の公演が終わりました。すると、会場からは大拍手! 3、4年生の29人が、千人の心を動かしました。子どもたちも晴れやかな笑顔で舞台からおりてきました。子どもたちの度胸の良さに感心させられました。

今度は、18日(日)の鼻ぐり井手祭で演じます。今回とは違い、外での公演となります。さらに大きな声で演じなければなりませんが、きっと頑張ってくれるでしょう。



「作るぞ~井手を♪」と大合唱

# 防災ずきんを作ったいただきました

11月6日(火)に1・2年生の防災ずきんを南Ba小会の内田早苗さんと菊陽町の婦人会の方々に作っていただきました。

27日(火)の避難訓練の時に使用する防災ずきんですが、今年はまだ作成が終わっていませんでした。内田さんにご相談すると快く引き受けくださり、町の婦人会の力を借りることになりました。当日南小校区の婦人会のみなさん以外にも、西小、北小校区の婦人会の方にも来校していただきました。保護者さん(坂本さん、諸泉さん)とあわせて12名で、1・2年生28人分の防災ずきんを作っていました。お忙しい中ご協力ありがとうございました。保護者の皆様にもタオル等のご準備大変お世話になりました。



まつぼり風の夢